

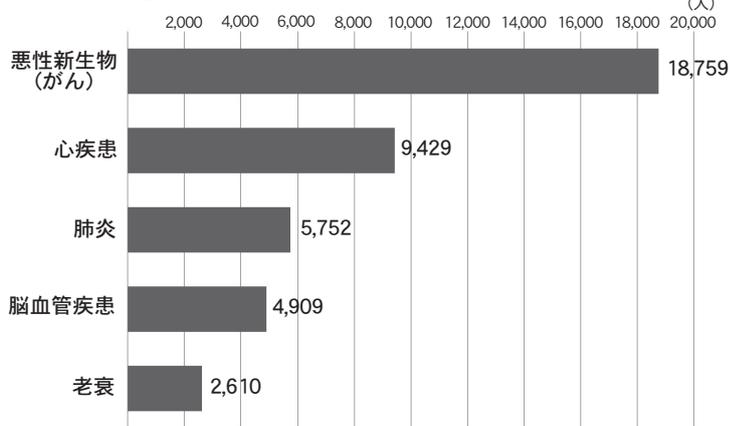
ご家族のためにも

がん検診を受けましょう！



(表1)

道内原因別死亡者数(H26・上位5項目)



北海道保健統計年報 平成26年版より

誰もが「がん」によって死亡する危険性があります

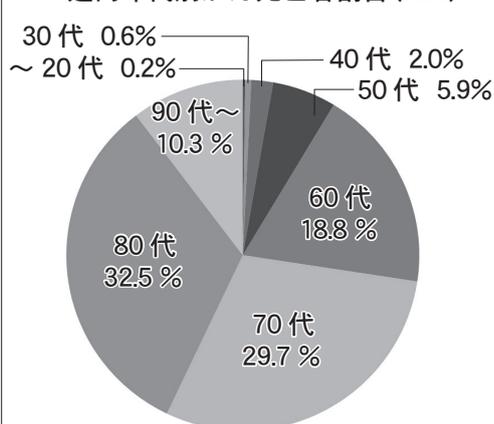
がんは、いまや日本人の国民病とも呼ばれており、2人に1人が生涯のうちにかんにかかり、3人に1人ががんによって死亡するともいわれています。現在は検査法や治療法が進み、がんの発症が死に直結するわけではありませんが、発見が遅れると死の危険性が高くなることは間違いありません。

道内で死亡した人(表1)のうち、がんが原因で死亡した人は1万8,759人で1位になっています。これは死亡者数全体の31.3%となっており、道内でも3人に1人はがんで死亡しています。

また、年代別がん死亡者割合(表2)を見ると、60代以上が91.3%となっており、40代以下でも2.8%と、若い世代であっても、がんによって命を落とすことは珍しくありません。

がんの発症リスクを減らすには禁煙や運動、食生活の見直しといった生活習慣の改善は有効です。しかし、完全に発症を抑えられるわけではなく、皆さん一人ひとりが、がんによって死亡する危険性があることを認識しなくてはなりません。

(表2) 道内年代別がん死亡者割合(H26)



北海道保健統計年報 平成26年版より

早期発見・早期治療で 死亡リスクは激減します

がんは、体内の正常な細胞の遺伝子が傷つくことによつてがん細胞となり、増殖して大きくなります。問題はその時間で、一般的にはがん細胞を発見できるようになるには10～15年もの時間がかかるといわれています。一見健康で病気がかからなさそうな人であっても、突然がんが発見されることもあります。

このがんを早期に発見するのが「がん検診」です。定期的にはがん検診を受診することで、徐々に進行するがん細胞を初期段階で発見し、早期に治療を行うことが可能になります。早期にがんを発見し治療を行うことで、多くの方は5年後も今までどおりの生活を送ることができています。

皆さんの中には「職場などで毎年健康診断を受けているから大丈夫」という方もいると思いますが、健康診断だけでは、がんの危険性を見つけることはできません。また、一度受診したらもう受けなくていいものではなく、毎年継続して受診することで早期発見につながります。検診を受けられる年齢に達したら、ぜひ毎年のがん検診の受診をお考えください。

～市が実施しているがん検診～

市では、下記のとおりがん検診を実施しています。詳細は、広報すながわ4月1日号付込「砂川市各種健(検)診等の日程表」をご覧ください。広報すながわでも随時お知らせしています。

また、大腸がん、子宮がん、乳がん検診については、市立病院で通年で受診することができます。こちらについてもふれあいセンターへ申し込みください。



検診項目	対象年齢	料金	実施日	備考
胃がん	40歳以上	2,000円	8月26日(土)、11月12日(日)	
肺がん	40歳以上	600円		
大腸がん	40歳以上	1,000円	7月1日(土)、8月26日(土)、 8月27日(日)、10月29日(日)、 11月12日(日)	7月1日と10月29日は、子宮がん、乳がん検診を受診する方のみです
子宮がん	20歳以上	2,000円	7月1日(土)、10月29日(日)	今年度21歳、26歳、31歳、36歳、41歳に達する方に郵送している無料クーポン券をお持ちの方は持参ください
乳がん	30歳以上	・49歳まで 2,600円 ・50歳以上 2,200円	7月1日(土)、8月27日(日)、 10月29日(日)	・今年度41歳、46歳、51歳、56歳、61歳に達する方に郵送している無料クーポン券をお持ちの方は持参ください ・市立病院で行う場合のみのオプション検査として、3Dマンモグラフィ検査が受診できます(別途1,000円)
前立腺がん	50～79歳	1,000円	1月10日～20日、2月2日～14日、3月2日～14日の月・火・木・金曜日	

- ※ 9月5日(火)には女性限定のバスタア-検診があります(前立腺がん以外の5項目・無料送迎バスあり)
- ※ 年齢表記はすべて平成30年3月31日時点での年齢となります
- ※ 国民健康保険、後期高齢者医療保険の方は、料金が半額になります(前立腺がん検診、乳がん検診オプション検査を除く)
- ※ 同じ検診は年に一度しか受診できません

「ご家族のためにも 積極的な受診を！」

平成29年4月から「砂川市がん対策推進条例」が施行され、市では、がん予防のためにさまざまな施策を実施しています。

その条例の中で、市民のがん検診受診率の向上が挙げられています。直近の実績では、市が目標としている受診率には残念ながら届いていません。特に40代から毎年受診することが望ましいとされている胃がん、肺がん、大腸がん検診のふれあいセンターで把握している受診率は、市の目標値である50%の約4分の1程度にとどまっています。

また、がんの発症要因によく挙げられる喫煙、飲酒と並び、運動不足や肥満によつてもがんのリスクは確実に上がりますので、気になる方はぜひ受診をお願いします。

最後に、がんの早期発見は、自分のためだけでなく家族のためにも大切なことです。いつまでも健康的に過ごして、家族の笑顔を守りましょう。



◆お問い合わせ
ふれあいセンター ☎2000